



植物は1つ1つが自然の芸術品。

世界でただ一鉢の芸術品と出会った瞬間
観葉植物と暮らす潤いの時間がはじまります。

【大きな観葉植物専門店 ガーデントロピカ】web shop は
良質な空間と時間を求める高感度な顧客に満足いただけるような
観葉植物とサービスを提供しています。

2010/09/01

【大きな観葉植物専門店 ガーデントロピカ】web shop

- ・ 「大型」観葉植物の専門店サイトは、当店だけ。
- ・ 「1点もの主義」 = 「写真そのまま・現品お届け」は、当店だけ。
ともゆきえんげいじょう
- ・ 創業75年余の友行園芸場が運営。「ナーセリー」から全国発送。
- ・ 「高感度な顧客」に支持されています。

◆ 今月のピックアップ

当店でのお売れ筋商品や、話題性のある商品、おすすめ商品などのご紹介

マニラヤシは、当店で人気の観葉植物です。単幹がスッキリとした上品なヤシです。幹肌も外皮が剥脱したあとの幹肌はスベスベとして清潔感があります。樹冠は大きく広がります。樹形全体を楽しむのはもちろん、樹冠の下でくつろぐような家具の配置も良いでしょう。バリの高級なリゾートを思わせる観葉植物です。



◆ 気まぐれ相談室から お客様との対話から生まれたさまざまなトピックスをご紹介しますコーナー

鉢カバーの色。植物との相性は？

鉢カバーと植物との相性を色から考えてみました。あわせやすい順に上から並べてみました。下に行くほど難しくなります。グレー以下は、上級者向け。植物との相性というよりは、インテリアとの相談という域になってきます。

植物との相性	鉢の色	コメント	Notes
良い	白	オールマイティですね。	植物との相性がよくあわせやすい。 お勧めはアイボリーから明るいベージュ。とても上品で、飽きがきません。
↑	ベージュ	とても上品。ナチュラルにも。	
↑	茶系	上品でシック。落ち着いたイメージです。	
↑	黒	強いけれど、グリーンをひきたてます。	
↓	グレー	以外に難しい色。植物の葉色がくすんで見えることが多いです。	↓ グレー以下は上級者向け 植物との相性というよりインテリアとの相談できまります。
↓	黄	原色に近い黄は難しい。マスタードや卵色などニュアンスのある色味で。	
↓	赤	赤の色味にかなり左右される。グッと印象的になることも。	
↓	緑	基本的にグリーンの葉っぱしかない観葉植物の場合、ブリティッシュグリーンでもあわせ難い。できれば淡い緑にしましょう。	
難しい	青	緑と同様、難しいことが多い。	

鉢カバーの素材（テクスチュア）についてはまたの機会に譲るとして、今回は、色だけを取り上げて考えてみました。後半はアレック？と思うところはありませんでしたか。

以下の画像で植物と鉢色の映り方を比べてみてください。いかかでしょうか。是非、ご参考になさって下さい。



白 スピカS1-10

ライトベージュ スピカS1-10

茶 ジュネスJ5-10

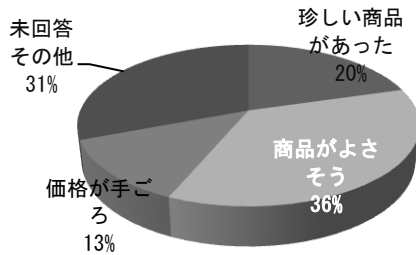
黒 アレック A1-10

グレー アレックA1-10

◆ データ紹介 当店の顧客のプロフィール 当店の購入時アンケート調査 及び Estore 提供データ (2010.7~2010.8)

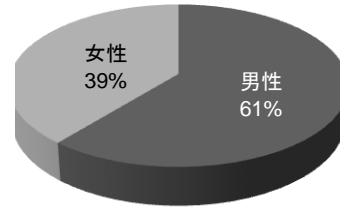
◆ 良質な、こだわりの商品を志向する顧客です

商品がよさそう、珍しい商品があったから という理由の顧客を合わせると半数以上となります。良いもの、こだわりのある商品を志向する顧客層が多いことが分かります。



◆ 男性顧客の割合が多めです。

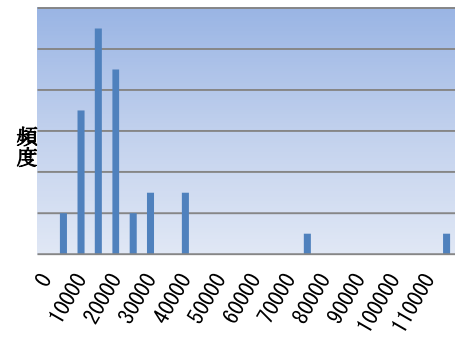
ガーデニング部門では珍しく男性顧客の割合が多いです。



購入者の性別

◆ 高単価の購買顧客です。

当社が利用している WebShop 運営サービス (=Estore) の中で購入単価について、カテゴリ平均と当店とを比較すると、当社での購入単価が約5割高いことがわかります。右の1回の購入単価の分布をみると、最多は15,000円~20,000円、1回のご購入が40,000円を超える顧客も全体の約7%あります。良質で比較的高単価の商品を購入する顧客が多いようです。



1回の購入単価 (2010.7~8月平均)

購入単価の比較 ** (2010.7~8月平均) (Estore 提供のデータより)

ショップ運営サービス平均	10,430円	カテゴリ : フラワー・ガーデンニング
ガーデントロピカ	20,206円	

株式会社友行園芸場

本店 : 651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂 70
 TEL : 078-904-3303 / FAX : 078-904-3634
 E Mail : info@tomoyuki.co.jp
 URL : <http://garden-tropica.com/>
 企画担当 : 武井美和

Tomoyuki Garden & Nursery Inc.

